

経済課

第一次産業の生産状況について

本年の第一次産業の生産状況についてご報告いたします。最初に農業関係について報告します。春先の低温及び日照不足により農作業は遅れ、長雨や日照不足により生育は緩慢でした。水稻は登熟期の天候に恵まれ、豊作を見込む収量の確保ができるものの、収穫期の降雨により収穫が遅れ調整作業が11月いっぱいかかることになりました。小麦や豆類、ビート、牧草においては、春先の低温及び日照不足により収量の低下となったと伺っております。

はじめに、「水稻」ですが、全量1等米とはなりませんでしたが、出荷量約42,000俵で、反当収量は9俵以上が見込まれております。販売額についても、約5億円が見込まれており、昨年並みであると伺っております。

「畑作・野菜」は、低温、日照不足により、総体的に減収と品質が低下しており、特に小麦、馬鈴薯などは疫病の発生もあり減収となっております。

「酪農・畜産」ですが、生乳は13,000トンを見込まれておりますが、計画より500トン程の落ち込みが予想されております。この要因としては、今年3月に搾乳停止した農家が1件あることに加え、昨年の大雨被害及び今年の低温・日照不足や収穫期の雨による収穫作業の遅れなどで、牧草の収量や品質に影響がでており、今後の乳量も懸念されているところです。

また、畜産関係につきましては、9月末に養豚農家が離農され養豚農家はなくなりました。肉牛は、原発事故による風評被害等で価格が暴落し、現在に至っておりますが、肥育牛・素牛の出荷頭数については前年並みで推移していると伺っております。

遠別地区での農業生産見込み額は、約23億1千万を見込んでおり、これは前年と比較し約2千万の増収が見込まれているところであります。

林業

次に林業ですが、「未来につなぐ森づくり推進事業」や「森林環境保全整備事業」などの実施につきましてほぼ計画通り進められております。このほか「森林整備地域活動支援交付金事業」も実施され、他の私有林事業につきましても順調に執行されていると報告を受けております。

続きまして、水産業についてご報告いたします。水揚げの状況につきまして、主力でありますホタテ稚貝や成貝は約7億円で計画を16%程度上回っております。また、さけ定置網は、昨年不漁であったこともあり、水揚量と魚価が高かく昨年の約2倍増となっております。その他、ひらめ・カレイ漁は平年並みでしたが、ホッキ漁は量の減と魚価が低く不漁であったと伺っております。

本年度の水揚げ額は7億1千万円と計画されておりましたが、現在のところ計画額と比較し19%ほど上回る8億4千百万円と報告を受けております。また、加工事業につきましては需要状況を見ながら生産されおり、5億8千万円の計画に対し、現在までの販売は約6億4千万円となっております。

「たこ」の販売が好調であり、今後の水揚げや操業による増額に期待していると報告を受けております。

以上、本年の第1次産業の生産状況について報告いたしました。

平成23年度各種工事等の発注状況について

本年度の各種工事と調査設計及び管理等の委託業務の発注状況についてご報告致します。

本年の工事及び委託業務の発注は平成22年度から繰越の災害復旧工事及び地域活性化交付金事業並びに平成23年度予算を合わせて、総体で100件となっております。その内工事が73件、委託業務が27件で、発注率は工事・委託業務ともに100%となっております。

平成23年度における発注工事は本定例会に上程しております工事、委託業務各1件を残すだけとなります。

発注額で申し上げますと、現在までの工事請負金額は、5億418万円、調査設計及び管理等、除排雪業務を含めた委託業務は、1億4,110万円で、合わせて6億4,528万円の発注額となっております。

平成23年12月 議会定例会 行政報告

国保病院

町立国保病院医師の内定について

本年3月に医師の退職により、町立国保病院の常勤医師が1名となり町民の皆様にはご不便をおかけしておりますが、来年4月に医師を採用することが内定いたしましたので報告いたします。

今回採用する医師は、北海道地域医療振興財団から紹介を受けた、64才の医師で、嘱託医師として1年毎の契約をし、常勤で勤務して頂く予定となっており、月曜日から金曜日まで外来及び病棟業務を担当します。

専門は内科ですが、過疎地域の病院や診療所勤務が長かったので軽傷外科や腰痛症等の診察も担う予定としています。

これにより町立国保病院の診察体制は、1年ぶりに常勤医師2名体制で診察を行うことが出来るようになります。

着任日については、現在勤められているところの残務整理があるため4月10日前後になる予定です。

平成23年12月 議会定例会 行政報告

国保病院

遠別町立国保病院改革プラン検証委員会の設置について

公立病院改革ガイドラインに基づき、平成21年6月に策定いたしました遠別立国保病院改革プランについて、実施状況の点検及び評価検証を行うため、10月に検証委員会設置要綱を定め、委員の募集を行い、5名の方を委員として委嘱いたしました。

第1回会議を12月6日に開催し、各委員に委嘱状を交付し、委員長に表勝さん、副委員長に山口憲一さんが選任され、事務局から改革プランの説明や検証委員会設置の目的、改革プランの目標数値に対し、平成22年度決算との比較、目標達成に向けた具体的な取り組みなどを説明し、検証していただいております。

この後につきましては、来年2月下旬に平成23年度決算見込み数値との比較や、病院に対するご意見をいただきながら、町立国保病院の効率的な経営運営に役立てていきたいと考えております。